

● 日本語科目

日本語 I-1a・I-1b

春学期 (I-1a) 及び 秋学期 (I-1b) 各 8 単位

ひらがな、カタカナ、100 字程度以上の漢字の知識がある学習者を対象とします。日本語 I-1a・I-1b では、目標とするレベルを CEFR の A1 に設定しています。特に、「簡単に自分のこと（名前・国・趣味など）を話したり相手のことを聞いたりすることができる」、「お店の人や友達と簡単なやり取りをして、買い物をしたり料理の注文をしたりすることができる」といった活動や話題を総合的に扱います。

また、日常生活に必要な会話と 300 字程度の漢字、漢字語彙を使った読解、短い作文ができるようになることを目標とします。文法、会話、聴解、作文の授業は『できる日本語』を使います。読解の授業は『たのしい読み物 55』、漢字の授業は『基本漢字 500』を使います。(週 8 コマ)

日本語 I-1a・I-1b の目標は以下の通りです。

- 日常生活での身近な事柄について、相手の助けを得られれば、簡単なやりとりができる。
- 簡単な表現を聞きとることができ、基本的な語句や表現を使って自分の気持ちを伝えられる。
- 100-300 字程度の漢字、またその漢字を含んだ漢字語彙を読んだり書いたりすることができる。
- 短いメモやメッセージが書ける。

授業内容の例

- ・会話の中で新しい表現が使えるように練習する。
- ・自分の経験について話せるように練習する。
- ・CD を聞いたり、クラスメイトと話したりする。
- ・各課で勉強したことを使って活動する。

(例：日本人学生をクラスに招いて話す。自分の町について紹介する。)

日本語 I-1a は春学期に、I-1b は秋学期に開講します。学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

(評価) 課題・授業参加等・・・10% クイズ・・・20% 書くテスト・・・30% 話すテスト・・・20% 漢字・・・20%

(教材) 『できる日本語 初級 本冊』 アルク, 『たのしい読み物 55 初級&初中級』 アルク
『新版 基本漢字 500 Vol.1』 凡人社

日本語 I-1c

冬季集中 2 単位

日本語 I-1c は冬学期に開講します。春学期や秋学期の学習で身につけられなかった知識やスキルを集中的にブラッシュアップし、I-1a や I-1b で身につける知識やスキルの習熟を目指します。特に、「簡単に自分のこと（名前・国・趣味など）を話したり相手のことを聞いたりすることができる」、「お店の人や友達と簡単なやり取りをして、買い物をしたり料理の注文をしたりすることができる」といった活動や話題を総合的に扱います。

また、日常生活に必要な会話と 300 字程度の漢字、漢字語彙を使った読解、短い作文ができるようになることを目標とします。文法、会話、聴解、作文の授業は『できる日本語』を使います。読解の授業は『たのしい読み物 55』、漢字の授業は『基本漢字 500』を使います。(週 6 コマ、5 週実施)

日本語 I-1c の目標は以下の通りです。

- 日常生活での身近な事柄について、相手の助けを得られれば、簡単なやりとりができる。
- 簡単な表現を聞きとることができ、基本的な語句や表現を使って自分の気持ちを伝えられる。
- 100-300 字程度の漢字、またその漢字を含んだ漢字語彙を読んだり書いたりすることができる。
- 短いメモやメッセージが書ける。

授業内容の例

- ・会話の中で新しい表現が使えるように練習する。
- ・自分の経験について話せるように練習する。
- ・CD を聞いたり、クラスメイトと話したりする。
- ・各課で勉強したことを使って活動する。

(例：日本人学生をクラスに招いて話す。自分の町について紹介する。)

学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

(評価) 課題・授業参加等・・・10% クイズ・・・20% 書くテスト・・・30% 話すテスト・・・20% 漢字・・・20%

(教材) 『できる日本語 初級 本冊』 アルク, 『たのしい読み物 55 初級&初中級』 アルク
『新版 基本漢字 500 Vol.1』 凡人社

日本語 I-2a・I-2b

春学期 (I-2a) 及び 秋学期 (I-2b) 各 8 単位

ひらがな、カタカナ、100 字程度以上の漢字の知識がある学習者を対象とします。日本語 I-2a・I-2b では、目標とするレベルを CEFR の A1 に設定しています。特に、「体調について友だちや周りの人と簡単に話すことができる。また、病院で簡単なやり取りをすることができる。」や、「異なる文化の中で楽しく生活するために、習慣・文化・ルールを知り、自分の意見を簡単に言うことができる。」といった A1 レベルのやや難易度の高い活動や話題を総合的に扱います。

また、日常生活に必要な会話と 300 字程度の漢字、漢字語彙を使った読解、短い作文ができるようになることを目標とします。文法、会話、聴解、作文の授業は『できる日本語』を使います。読解の授業は『たのしい読み物 55』、漢字の授業は『基本漢字 500』を使います。(週 8 コマ)

日本語 I-2a・I-2b の目標は以下の通りです。

- 日常生活での身近な事柄について、相手の助けを得られれば、簡単なやりとりができる。
- 簡単な表現を聞きとることができ、基本的な語句や表現を使って自分の気持ちを伝えられる。
- 100-300 字程度の漢字、またその漢字を含んだ漢字語彙を読んだり書いたりすることができる。
- 短いメモやメッセージが書ける。

授業内容の例

- ・会話の中で新しい表現が使えるように練習する。
- ・自分の経験について話せるように練習する。
- ・CD を聞いたり、クラスメイトと話したりする。
- ・各課で勉強したことを使って活動する。

(例：アンケートをして発表する。私のニュースをまとめて新聞を作る。)

日本語 I-2a は春学期に、I-2b は秋学期に開講します。学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

(評価) 課題・授業参加等・・・10% クイズ・・・20% 書くテスト・・・30% 話すテスト・・・20% 漢字・・・20%
(教材) 『できる日本語 初級 本冊』 アルク, 『たのしい読み物 55 初級&初中級』 アルク
『新版 基本漢字 500 Vol.1』 凡人社

日本語 I-2c

冬季集中 2 単位

日本語 I-2c は冬学期に開講します。春学期や秋学期の学習で身につけられなかった知識やスキルを集中的にブラッシュアップし、I-2a や I-2b で身につける知識やスキルの習熟を目指します。特に、「体調について友だちや周りの人と簡単に話すことができる。また、病院で簡単なやり取りをすることができる。」や、「異なる文化の中で楽しく生活するために、習慣・文化・ルールを知り、自分の意見を簡単に言うことができる。」といった A1 レベルのやや難易度の高い活動や話題を総合的に扱います。

また、日常生活に必要な会話と 300 字程度の漢字、漢字語彙を使った読解、短い作文ができるようになることを目標とします。文法、会話、聴解、作文の授業は『できる日本語』を使います。読解の授業は『たのしい読み物 55』、漢字の授業は『基本漢字 500』を使います。(週 6 コマ、5 週実施)

日本語 I-2c の目標は以下の通りです。

- 日常生活での身近な事柄について、相手の助けを得られれば、簡単なやりとりができる。
- 簡単な表現を聞きとることができ、基本的な語句や表現を使って自分の気持ちを伝えられる。
- 100-300 字程度の漢字、またその漢字を含んだ漢字語彙を読んだり書いたりすることができる。
- 短いメモやメッセージが書ける。

授業内容の例

- ・会話の中で新しい表現が使えるように練習する。
- ・自分の経験について話せるように練習する。
- ・CD を聞いたり、クラスメイトと話したりする。
- ・各課で勉強したことを使って活動する。

(例：アンケートをして発表する。私のニュースをまとめて新聞を作る。)

(評価) 課題・授業参加等・・・10% クイズ・・・20% 書くテスト・・・30% 話すテスト・・・20% 漢字・・・20%
(教材) 『できる日本語 初級 本冊』 アルク, 『たのしい読み物 55 初級&初中級』 アルク
『新版 基本漢字 500 Vol.1』 凡人社

日本語 II-1a・II-1b

春学期 (II-1a) 及び 秋学期 (II-1b) 各 8 単位

初中級の学習者を対象とします。日本語 II-1a・II-1b では、目標とするレベルを CEFR の A2 に設定しています。特に、「初めてあった人に丁寧に自己紹介したり、印象よく問い合わせたりできる。」や、「突然のハプニングにあったとき、簡単なことなら事情を説明して対処することができる。」といった活動や話題を総合的に扱います。

また、日本語 II-1a・II-1b では、簡単な敬語などの会話表現についても学習します。日常生活に必要な会話と 300 字程度の漢字、漢字語彙を使った読解、簡単な構造の作文ができるようになることを目標とします。文法、会話、聴解、作文の授業は『できる日本語』を使います。読解の授業は『たのしい読み物 55』、漢字の授業は『基本漢字 500』を使います。(週 8 コマ)

日本語 II-1a・II-1b の目標は以下の通りです。

- 日常生活での身近なことがらについて、助けを得なくても簡単なやりとりができる。
- 仕事や専門、社会に関することがらについて、相手の助けを得ることができれば、自分の意見を言ったり、簡単なやりとりをしたりすることができる。
- 自分の国のこと、身の回りの状況などについての情報が説明できる。
- 500 字程度の漢字、またその漢字を含んだ漢字語彙を読んだり書いたりすることができる。
- 短いスピーチの原稿が書ける。

授業内容の例

- ・会話の中で新しい表現が使えるように練習する。
- ・自分の経験について話せるように練習する。
- ・CD を聞いたり、クラスメイトと話したりする。
- ・各課で勉強したことを使って活動する。

(例：日本人学生やコンビニや書店の店員さんをゲストに招き、インタビューする。旅行の計画を立てて発表する。)

日本語 II-1a は春学期に、II-1b は秋学期に開講します。学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

(評価) 課題・授業参加等・・・10% クイズ・・・20% 書くテスト・・・30% 話すテスト・・・20% 漢字・・・20%

(教材) 『できる日本語 初中級 本冊』 アルク、『たのしい読み物 55 初級&初中級』 アルク

『新版 基本漢字 500 Vol. 2』 凡人社

日本語 II-1c

冬季集中 2 単位

日本語 II-1c は冬学期に開講します。春学期や秋学期の学習で身につけられなかった知識やスキルを集中的にブラッシュアップし、II-1a や II-1b で身につける知識やスキルの習熟を目指します。特に、「初めてあった人に丁寧に自己紹介したり、印象よく問い合わせたりできる。」や、「突然のハプニングにあったとき、簡単なことなら事情を説明して対処することができる。」といった活動や話題を総合的に扱います。

また、日本語 II-1c でも、簡単な敬語などの会話表現についても学習します。日常生活に必要な会話と 300 字程度の漢字、漢字語彙を使った読解、簡単な構造の作文ができるようになることを目標とします。文法、会話、聴解、作文の授業は『できる日本語』を使います。読解の授業は『たのしい読み物 55』、漢字の授業は『基本漢字 500』を使います。(週 6 コマ、5 週実施)

日本語 II-1c の目標は以下の通りです。

- 日常生活での身近なことがらについて、助けを得なくても簡単なやりとりができる。
- 仕事や専門、社会に関することがらについて、相手の助けを得ることができれば、自分の意見を言ったり、簡単なやりとりをしたりすることができる。
- 自分の国のこと、身の回りの状況などについての情報が説明できる。
- 500 字程度の漢字、またその漢字を含んだ漢字語彙を読んだり書いたりすることができる。
- 短いスピーチの原稿が書ける。

授業内容の例

- ・会話の中で新しい表現が使えるように練習する。
- ・自分の経験について話せるように練習する。
- ・CD を聞いたり、クラスメイトと話したりする。
- ・各課で勉強したことを使って活動する。

(例：日本人学生やコンビニや書店の店員さんをゲストに招き、インタビューする。旅行の計画を立てて発表する。)

学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

(評価) 課題・授業参加等・・・10% クイズ・・・20% 書くテスト・・・30% 話すテスト・・・20% 漢字・・・20%

(教材) 『できる日本語 初中級 本冊』 アルク、『たのしい読み物 55 初級&初中級』 アルク

『新版 基本漢字 500 Vol. 2』 凡人社

日本語 II-2a・II-2b

春学期 (II-2a) 及び 秋学期 (II-2b) 各 8 単位

初中級の学習者を対象とします。日本語 II-2a・II-2b では、目標とするレベルを CEFR の A2 に設定しています。特に、「地域の日本人に、自分の最近の生活や今困っていることなどについて話したり、地域の活動に参加したりすることができる。」や「テレビや町中で気になることを見かけたとき、それについて意見を言ったり、それに関する自分の経験を話したりすることができる。」といった A2 レベルのやや難易度の高い活動や話題を総合的に扱います。

また、日本語 II-2a・II-2b でも、簡単な敬語などの会話表現についても学習します。日常生活に必要な会話と 300 字程度の漢字、漢字語彙を使った読解、簡単な構造の作文ができるようになることを目標とします。文法、会話、聴解、作文の授業は『できる日本語』を使います。読解の授業は『たのしい読み物 55』、漢字の授業は『基本漢字 500』を使います。(週 8 コマ)

日本語 II-2a・II-2b の目標は以下の通りです。

- 日常生活での身近なことがらについて、助けを得なくても簡単なやりとりができる。
- 仕事や専門、社会に関することがらについて、相手の助けを得ることができれば、自分の意見を言ったり、簡単なやりとりをしたりすることができる。
- 自分の国のこと、身の回りの状況などについての情報が説明できる。
- 500 字程度の漢字、またその漢字を含んだ漢字語彙を読んだり書いたりすることができる。
- 短いスピーチの原稿が書ける。

授業内容の例

- ・会話の中で新しい表現が使えるように練習する。
- ・自分の経験について話せるように練習する。
- ・CD を聞いたり、クラスメイトと話したりする。
- ・各課で勉強したことを使って活動する。

(例：健康について調べてクラスメイトやゲストと意見交換をする。自分の国の行事について調べて発表する。)

日本語 II-2a は春学期に、II-2b は秋学期に開講します。学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

(評価) 課題・授業参加等・・・10% クイズ・・・20% 書くテスト・・・30% 話すテスト・・・20% 漢字・・・20%

(教材) 『できる日本語 初中級 本冊』 アルク、『たのしい読み物 55 初級&初中級』 アルク

『新版 基本漢字 500 Vol. 2』 凡人社

日本語 II-2c

冬季集中 2 単位

日本語 II-2c は冬学期に開講します。春学期や秋学期の学習で身につけられなかった知識やスキルを集中的にブラッシュアップし、II-2a や II-2b で身につける知識やスキルの習熟を目指します。特に、「地域の日本人に、自分の最近の生活や今困っていることなどについて話したり、地域の活動に参加したりすることができる。」や「テレビや町中で気になることを見かけたとき、それについて意見を言ったり、それに関する自分の経験を話したりすることができる。」といった A2 レベルのやや難易度の高い活動や話題を総合的に扱います。

また、日本語 II-2c でも、簡単な敬語などの会話表現についても学習します。日常生活に必要な会話と 300 字程度の漢字、漢字語彙を使った読解、簡単な構造の作文ができるようになることを目標とします。文法、会話、聴解、作文の授業は『できる日本語』を使います。読解の授業は『たのしい読み物 55』、漢字の授業は『基本漢字 500』を使います。(週 6 コマ、5 週実施)

日本語 II-2c の目標は以下の通りです。

- 日常生活での身近なことがらについて、助けを得なくても簡単なやりとりができる。
- 仕事や専門、社会に関することがらについて、相手の助けを得ることができれば、自分の意見を言ったり、簡単なやりとりをしたりすることができる。
- 自分の国のこと、身の回りの状況などについての情報が説明できる。
- 500 字程度の漢字、またその漢字を含んだ漢字語彙を読んだり書いたりすることができる。
- 短いスピーチの原稿が書ける。

授業内容の例

- ・会話の中で新しい表現が使えるように練習する。
- ・自分の経験について話せるように練習する。
- ・CD を聞いたり、クラスメイトと話したりする。
- ・各課で勉強したことを使って活動する。

(例：健康について調べてクラスメイトやゲストと意見交換をする。自分の国の行事について調べて発表する。)

学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

(評価) 課題・授業参加等・・・10% クイズ・・・20% 書くテスト・・・30% 話すテスト・・・20% 漢字・・・20%

(教材) 『できる日本語 初中級 本冊』 アルク、『たのしい読み物 55 初級&初中級』 アルク

『新版 基本漢字 500 Vol. 2』 凡人社

日本語 III-1a・III-1b

春学期 (III-1 a) 及び 秋学期 (III-1 b) 各 8 単位

中級レベルの学習者を対象に、日本語 III-1a・III-1b では、目標とするレベルを CEFR の B1 に設定しています。日本語 III-1a・III-1b では、技能別に聞く、話す (表現・やりとり)、読む、書く、文法、漢字語彙のクラスを開講しています。各クラスで扱われる様々な技能を身につけ、場面や状況に応じた適切な言葉づかいで、自分が述べたいことについて、自信を持って述べられるようになることを目指します。(週 8 コマ)

日本語 III-1a・III-1b の目標は以下の通りです。

- 身近な話題や日常的な話題の会話やニュースについて、聞いたり話したりすることができる。
- ことばや構文が単純であれば、社会や生活の幅広い話題についての議論を理解することができる。
- 身近な話題について書かれた新聞記事や、小説の一部などを読んで、要点をつかむことができる。
- 日常的な話題や、一般的な問題に関する意見などについてある程度まとまった文章を書くことができる。

科目	授業内容の例
聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なニュースや説明を聞き、必要な情報を聞き取る。 ・日常生活や大学生活での会話を聞き、内容を予測しながら大意を理解する。
話す a	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見や考えを整理して発表する。(スピーチ、プレゼンテーション) ・自分の関心事や身近な話題について話す。 ・自分の体験や物語を語る。
話す b	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や日常場面での会話を練習する。(依頼、勧誘、謝罪など) ・身近な話題や一般的な社会問題についてクラスメイトと意見交換する。
読む	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題の新聞記事や情報誌から重要点を取り出す。 ・様々な種類の文章を独力で読み解ける。 ・必要な情報を見つけるために長いテキストにざっと目を通し、情報を収集する。 ・短編小説などを読んで、出来事の経過や登場人物の行動の動機など、内容を理解する。
書く	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題についてある程度まとまった文章を書く。 ・書き言葉の文体・表現を学習する。 ・経験、感情や出来事を含んだ個人的なメールを書く。先生にアポイントのメールを書く。 ・自分が関心を持つ話題について、意見や説明を書く。
文法	<ul style="list-style-type: none"> ・中級レベルの日本語文法・表現を学習する。
漢字	<ul style="list-style-type: none"> ・800-1200 字程度の漢字とその漢字を含んだ漢字語彙の読み書きを学習する。

日本語 III - 1a は春学期に、III - 1b は秋学期に開講します。学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

(評価) 各授業の科目を担当する教員が個別に評価します。多くの場合、課題、授業参加度、試験等の結果を総合的に判断し、評価を行います。

(教材の例) 『小論文への 12 のステップ』スリーエーネットワーク

『日本語学習者のための読解厳選テーマ 10 中級・中上級』凡人社

『留学生のためのアカデミックジャパニーズ聴解 中級・中上級』スリーエーネットワーク

『日本語学習のためのよく使う順漢字 2200』三省堂

ニュース、新聞記事等

日本語 III-1c

冬季集中 2 単位

日本語 III-1c は冬学期に開講します。春学期や秋学期の学習で身につけられなかった知識やスキルを集中的にブラッシュアップし、III-1a や III-1b で身につける知識やスキルの習熟を目指します。III-1a や III-1b と同様に中級レベル以上の学習者を対象に、日本語 III では、目標とするレベルを CEFR の B1 に設定しています。日本語 III では、技能別に聞く、話す（表現・やりとり）、読む、書く、文法、漢字語彙のクラスを開講しており、各クラスで扱われる様々な技能を身につけ、場面や状況に応じた適切な言葉づかいで自信を持って述べたいことを述べられることを目指します。（週 6 コマ、5 週実施）

日本語 III-1c の目標は以下の通りです。

- 身近な話題や日常的な話題の会話やニュースについて、聞いたり話したりすることができる。
- ことばや構文が単純であれば、社会や生活の幅広い話題についての議論を理解することができる。
- 身近な話題について書かれた新聞記事や、小説の一部などを読んで、要点をつかむことができる。
- 日常的な話題や、一般的な問題に関する意見などについてある程度まとまった文章を書くことができる。

科目	授業内容の例
聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なニュースや説明を聞き、必要な情報を聞き取る。 ・日常生活や大学生活での会話を聞き、内容を予測しながら大意を理解する。
話す a	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見や考えを整理して発表する。（スピーチ、プレゼンテーション） ・自分の関心事や身近な話題について話す。 ・自分の体験や物語を語る。
話す b	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や日常場面での会話を練習する。（依頼、勧誘、謝罪など） ・身近な話題や一般的な社会問題についてクラスメイトと意見交換する。
読む	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題の新聞記事や情報誌から重要点を取り出す。 ・様々な種類の文章を独力で読み解ける。 ・必要な情報を見つけるために長いテキストにざっと目を通し、情報を収集する。 ・短編小説などを読んで、出来事の経過や登場人物の行動の動機など、内容を理解する。
書く	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題についてある程度まとまった文章を書く。 ・書き言葉の文体・表現を学習する。 ・経験、感情や出来事を含んだ個人的なメールを書く。先生にアポイントのメールを書く。 ・自分が関心を持つ話題について、意見や説明を書く。
文法	<ul style="list-style-type: none"> ・中級レベルの日本語文法・表現を学習する。
漢字	<ul style="list-style-type: none"> ・800－1200 字程度の漢字とその漢字を含んだ漢字語彙の読み書きを学習する。

学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

（評価） 各授業の科目を担当する教員が個別に評価します。多くの場合、課題、授業参加度、試験等の結果を総合的に判断し、評価を行います。

（教材の例） 『小論文への12のステップ』スリーエーネットワーク

『日本語学習者のための読解厳選テーマ10 中級・中上級』 凡人社

『留学生のためのアカデミックジャパニーズ聴解 中級・中上級』スリーエーネットワーク

『日本語学習のためのよく使う順漢字 2200』三省堂

ニュース、新聞記事等

日本語 III-2a・III-2b

春学期 (III-2 a) 及び 秋学期 (III-2 b) 各 8 単位

中級レベルの学習者を対象に、日本語 III-2a・III-2b では、目標とするレベルを CEFR の B1~B2 に設定しています。日本語 III-2a・III-2b では、技能別に聞く、話す (表現・やりとり)、読む、書く、文法、漢字語彙のクラスを開講しており、各クラスで扱われる様々な技能を身につけ、場面や状況に応じた適切な言葉づかいで自信を持って述べたいことを述べられることを目指します。(週 8 コマ)

日本語 III-2a・III-2b の目標は以下の通りです。

- 専門的なプレゼンテーションや、ニュースやドキュメンタリーを聞いて理解することができる。
- 社会や生活の幅広い話題についての議論を理解し、自分の意見を述べることができる。
- 助けを得れば、様々な種類の複雑な文章を読んで、内容を理解することができる。
- 論拠を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。

科目	授業内容の例
聞く	<ul style="list-style-type: none"> 専門的なプレゼンテーションの要点が理解できる。 標準語のドキュメンタリー、ニュース、インタビュー、映画等を理解できる。
話す a	<ul style="list-style-type: none"> はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。 図表やグラフなどを示しながら、詳しく説明し、質問に的確に対応することができる。 映画やドラマなどについて、友人にストーリーの展開を要領よくまとめて話すことができる。
話す b	<ul style="list-style-type: none"> お互いにストレスを感じさせることなく、流暢に自然に対話できる。 日常・非日常的な公式の議論に積極的に参加できる。 様々な立場の人と、抽象的な文化的・社会的な話題について、意見交換ができる。 インタビューをなめらかに効果的に行うことができる。
読む	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな種類の文章を独力で読み解ける。 文章を読むのに必要な広汎な語彙力を持っている 長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 登場人物の行動を理解することができる。
書く	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな情報や議論をまとめて評価できる。 明瞭で詳細な文章を書くことができる。 文章のジャンルの習慣に従って、書くことができる。 論拠を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。
文法	<ul style="list-style-type: none"> 中上級レベルの日本語文法・表現を学習する。
漢字	<ul style="list-style-type: none"> 1500 字程度の漢字とその漢字を含んだ漢字語彙の読み書きを学習する。

日本語 III - 2a は春学期に、III - 2b は秋学期に開講します。学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

(評価) 各授業の科目を担当する教員が個別に評価します。多くの場合、課題、授業参加度、試験等の結果を総合的に判断し、評価を行います。

(教材の例) 『小論文への 12 のステップ』スリーエーネットワーク

『日本語学習者のための読解厳選テーマ 10 中級・中上級』 凡人社

『留学生のためのアカデミックジャパニーズ聴解 中級・中上級』スリーエーネットワーク

『日本語学習のためのよく使う順漢字 2200』三省堂

ニュース、新聞記事等

日本語 III-2c

冬季集中 2 単位

日本語 III-2c は冬学期に開講します。春学期や秋学期の学習で身につけられなかった知識やスキルを集中的にブラッシュアップし、III-2a や III-2b で身につける知識やスキルの習熟を目指します。III-2a や III-2b と同様に中級レベルの学習者を対象に、日本語 III では、目標とするレベルを CEFR の B1 に設定しています。日本語 III では、技能別に聞く、話す（表現・やりとり）、読む、書く、文法、漢字語彙のクラスを開講しており、各クラスで扱われる様々な技能を身につけ、場面や状況に応じた適切な言葉づかいで自信を持って述べたいことを述べられることを目指します。（週 6 コマ、5 週実施）

日本語 III-2c の目標は以下の通りです。

- 専門的なプレゼンテーションや、ニュースやドキュメンタリーを聞いて理解することができる。
- 社会や生活の幅広い話題についての議論を理解し、自分の意見を述べることができる。
- 助けを得れば、様々な種類の複雑な文章を読んで、内容を理解することができる。
- 論拠を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。

科目	授業内容の例
聞く	<ul style="list-style-type: none"> 専門的なプレゼンテーションの要点が理解できる。 標準語のドキュメンタリー、ニュース、インタビュー、映画等を理解できる。
話す	<ul style="list-style-type: none"> はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。 図表やグラフなどを示しながら、詳しく説明し、質問に的確に対応することができる。 映画やドラマなどについて、友人にストーリーの展開を要領よくまとめて話すことができる。 お互いにストレスを感じさせることなく、流暢に自然に対話できる。 日常・非日常的な公式の議論に積極的に参加できる。 様々な立場の人と、抽象的な文化的・社会的な話題について、意見交換ができる。 インタビューをなめらかに効果的に行うことができる。
読む	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな種類の文章を独力で読み解ける。 文章を読むのに必要な広汎な語彙力を持っている 長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 登場人物の行動を理解することができる。
書く	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな情報や議論をまとめて評価できる。 明瞭で詳細な文章を書くことができる。 文章のジャンルの習慣に従って、書くことができる。 論拠を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。
文法	<ul style="list-style-type: none"> 中上級レベルの日本語文法・表現を学習する。
漢字	<ul style="list-style-type: none"> 1500 字程度の漢字とその漢字を含んだ漢字語彙の読み書きを学習する。

（評価） 各授業の科目を担当する教員が個別に評価します。多くの場合、課題、授業参加度、試験等の結果を総合的に判断し、評価を行います。

（教材の例） 『トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 中級後期』
『留学生のためのここが大切文章表現のルール』スリーエーネットワーク
『日本語学習者のための読解厳選テーマ10 中上級』 凡人社
『留学生のためのアカデミックジャパニーズ聴解 中上級・上級』スリーエーネットワーク
『日本語学習のためのよく使う順漢字 2200』三省堂
ニュース、新聞記事等

日本語 IVa・IVb

春学期 (IV a) 及び 秋学期 (IV b) 各 6 単位

上級レベルの学習者を対象に、日本語 IVa・IVb では、目標とするレベルを CEFR の B2 に設定しています。日本語 IVa・IVb では、技能別に聞く、話す（表現・やりとり）、読む、書く、総合のクラスを開講しています。幅広い慣用的な表現や口語表現を理解し、難度の高い様々な種類の文章を読んだり、ニュースやドキュメンタリー、講義や講演、映画やドラマといった生や生に近い素材を見たり聞いたりします。また、明瞭で詳細なレポートの作成や調べた情報に基づく発表などの活動も行います。(週 6 コマ)

日本語 IVa・IVb の目標は以下の通りです。

- 自然なスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容を理解したり、要旨を把握したりすることができる。
- 幅広い話題について自然に近いスピードで、まとまりのある会話ができる。
- 幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事などを読んで、文章の構成や内容を独力で理解することができる。
- 大学生生活に必要な作文、一般的な問題をテーマにしたレポートやエッセイを書くことができる。

科目	授業内容の例
聞く	<ul style="list-style-type: none"> 講義、議論、ディベートを聞いて、内容を理解する。 標準語の生放送を聞いて、個人間、社会、学問、職業の世界で通常出合う話題について、理解する。 視聴した話題について、様々な立場の人と意見交換ができる。
話す	<ul style="list-style-type: none"> 自分の発表テーマについて PPT を作成し、データなどを示しながら詳しく説明する。質問にも対応する。(プレゼンテーション、質疑応答) 議論に積極的に参加し、コメントしたり、仮説を立てたりする。(ディスカッション、意見交換) インタビューする人としてもインタビューを受ける側としても、インタビューに参加する。
読む	<ul style="list-style-type: none"> 新書、新聞、物語、論説文など、様々な分野のテキストを読み、内容を理解する。 読んだ情報についての解釈や、自分自身の意見を述べる。 長くて複雑なテキストを読み、理解する。 目的やテキストの種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら読む。
書く	<ul style="list-style-type: none"> 論拠、論点を整理してエッセイやレポートを書く。 読者として想定して、相手にふさわしい文体で、的確な構成と展開を持つ投書、意見文、志望動機、自己PR文を書く。
総合	<ul style="list-style-type: none"> 時事問題を含む様々な話題について、ニュース、ドキュメンタリー、インタビューなどを視聴し、それをもとに議論する。 ある程度長く複雑なテキストを理解し、必要な情報を整理して、明確な構造のエッセイやレポートを書く。

日本語 IVa は春学期に、IVb は秋学期に開講します。学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することがあります。

(評価) 各授業の科目を担当する教員が個別に評価します。多くの場合、課題、授業参加度、試験等の結果を総合的に判断し、評価を行います。

(教材の例) 『読む力 中上級』 くろしお出版

『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 聴解 上級』 スリーエーネットワーク

『聴解・発表ワークブック アカデミックスキルを身につける』 スリーエーネットワーク

ニュース、新聞記事、テレビ番組等

日本語 IVc

冬季集中 2単位

日本語 IVc は冬学期に開講します。春学期や秋学期の学習で身につけられなかった知識やスキルを集中的にブラッシュアップし、IVa や IVb で身につける知識やスキルの習熟を目指します。幅広い慣用的な表現や口語表現を理解し、難度の高い様々な種類の文章を読んだり、ニュースやドキュメンタリー、講義や講演、映画やドラマといった生や生に近い素材を見たり聞いたりします。また、明瞭で詳細なレポートの作成や調べた情報に基づく発表などの活動も行います。(週6コマ、5週実施)

日本語 IVc の目標は以下の通りです。

- 自然なスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容を理解したり、要旨を把握したりすることができる。
- 幅広い話題について自然に近いスピードで、まとまりのある会話ができる。
- 幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事などを読んで、文章の構成や内容を独力で理解することができる。
- 大学生生活に必要な作文、一般的な問題をテーマにしたレポートやエッセイを書くことができる。

科目	授業内容の例
聞く	<ul style="list-style-type: none">・ 講義、議論、ディベートを聞いて、内容を理解する。・ 標準語の生や放送を聞いて、個人間、社会、学問、職業の世界で通常出合う話題について、理解する。・ 視聴した話題について、様々な立場の人と意見交換ができる。
話す	<ul style="list-style-type: none">・ 自分の発表テーマについて PPT を作成し、データなどを示しながら詳しく説明する。質問にも対応する。(プレゼンテーション、質疑応答)・ 議論に積極的に参加し、コメントしたり、仮説を立てたりする。(ディスカッション、意見交換)・ インタビューする人としてもインタビューを受ける側としても、インタビューに参加する。
読む	<ul style="list-style-type: none">・ 新書、新聞、物語、論説文など、様々な分野のテキストを読み、内容を理解する。・ 読んだ情報についての解釈や、自分自身の意見を述べる。・ 長くて複雑なテキストを読み、理解する。・ 目的やテキストの種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら読む。
書く	<ul style="list-style-type: none">・ 論拠、論点を整理してエッセイやレポートを書く。・ 読者として想定して、相手にふさわしい文体で、的確な構成と展開を持つ投書、意見文、志望動機、自己PR文を書く。
総合	<ul style="list-style-type: none">・ 時事問題を含む様々な話題について、ニュース、ドキュメンタリー、インタビューなどを視聴し、それをもとに議論する。・ ある程度長く複雑なテキストを理解し、必要な情報を整理して、明確な構造のエッセイやレポートを書く。

(評価) 各授業の科目を担当する教員が個別に評価します。多くの場合、課題、授業参加度、試験等の結果を総合的に判断し、評価を行います。

(教材の例) 『読む力 中上級』 くろしお出版

『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 聴解 中上級 上級』 スリーエーネットワーク

『聴解・発表ワークブック アカデミックスキルを身につける』 スリーエーネットワーク

ニュース、新聞記事、テレビ番組等

日本語 Va・Vb

春学期 (V a) 及び秋学期 (V b) 各2単位

上級レベルの学習者を対象に、日本語 Va・Vb では、目標とするレベルを CEFR の B2～C1 に設定しています。映画、ドラマ、講義や講演、新聞、雑誌、文芸評論等の生や生に近い素材を使用します。明瞭で詳細なレポートの作成や調べた情報に基づく発表などの活動を通じて、総合的な日本語能力の向上を目指します。(週2コマ)

日本語 Va・Vb の目標は以下の通りです。

- 幅広い場面においてまとまりのある会話、ニュース、講義を聞いて、内容の論理関係や登場人物の関係を理解することができる。
- 幅広い話題について根拠を示しながら論理的に説明することができる。発表の場で質疑応答できる。
- 論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、文章の構成や内容を正確に理解することができる。さまざまな話題の内容の深みのある読み物を読んで、詳細な意図を理解することができる。
- 大学生活に必要なレポートが作成できる。根拠を示しながら論理的な構成で文章を書くことができる。

日本語 Va は春学期に、Vb は秋学期に開講します。学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することができます。

科目	授業内容の例
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時事問題を含む様々な話題について、ニュース、ドキュメンタリー、インタビューなどを視聴し、それをもとに議論する。 ・ ある程度長く複雑なテキストを理解し、必要な情報を整理して、明確な構造のエッセイやレポートを書く。

(評価) 各授業の科目を担当する教員が個別に評価します。多くの場合、課題、授業参加度、試験等の結果を総合的に判断し、評価を行います。

(教材の例) 『聴解・発表ワークブックーアカデミック・スキルを身につける』 スリーエーネットワーク
ニュース、新聞記事、テレビ番組、専門書等

日本語 Vc

冬季集中 各2単位

日本語 Vc は冬学期に開講します。春学期や秋学期の学習で身につけられなかった知識やスキルを集中的にブラッシュアップし、Va や Vb で身につける知識やスキルの習熟を目指します。映画、ドラマ、講義や講演、新聞、雑誌、文芸評論等の生や生に近い素材を使用します。明瞭で詳細なレポートの作成や調べた情報に基づく発表などの活動を通じて、総合的な日本語能力の向上を目指します。(週6コマ、5週実施)

日本語 Vc の目標は以下の通りです。

- 幅広い場面においてまとまりのある会話、ニュース、講義を聞いて、内容の論理関係や登場人物の関係を理解することができる。
- 幅広い話題について根拠を示しながら論理的に説明することができる。発表の場で質疑応答できる。
- 論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、文章の構成や内容を正確に理解することができる。さまざまな話題の内容の深みのある読み物を読んで、詳細な意図を理解することができる。
- 大学生活に必要なレポートが作成できる。根拠を示しながら論理的な構成で文章を書くことができる。

学習項目や活動は、学生の既習項目等に合わせて、調整することができます。

科目	授業内容の例
聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義、議論、ディベートを聞いて、内容を理解する。 ・ 標準語の生放送を聞いて、個人間、社会、学問、職業の世界で通常出会う話題について、理解する。 ・ 視聴した話題について、様々な立場の人と意見交換ができる。
話す	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の発表テーマについて PPT を作成し、データなどを示しながら詳しく説明する。質問にも対応する。(プレゼンテーション、質疑応答) ・ 議論に積極的に参加し、コメントしたり、仮説を立てたりする。(ディスカッション、意見交換) ・ インタビューする人としてもインタビューを受ける側としても、インタビューに参加する。
読む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新書、新聞、物語、論説文など、様々な分野のテキストを読み、内容を理解する。 ・ 読んだ情報についての解釈や、自分自身の意見を述べる。 ・ 長くて複雑なテキストを読み、理解する。 ・ 目的やテキストの種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら読む。
書く	<ul style="list-style-type: none"> ・ 論拠、論点を整理してエッセイやレポートを書く。 ・ 読者として想定して、相手にふさわしい文体で、的確な構成と展開を持つ投書、意見文、志望動機、自己PR文を書く。
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時事問題を含む様々な話題について、ニュース、ドキュメンタリー、インタビューなどを視聴し、それをもとに議論する。 ・ ある程度長く複雑なテキストを理解し、必要な情報を整理して、明確な構造のエッセイやレポートを書く。

(評価) 各授業の科目を担当する教員が個別に評価します。多くの場合、課題、授業参加度、試験等の結果を総合的に判断し、評価を行います。

(使用教材) 『聴解・発表ワークブックーアカデミック・スキルを身につける』 スリーエーネットワーク
ニュース、新聞記事、テレビ番組、専門書等

日本語概論 I・II

春学期 及び 秋学期 各2単位

今仁 生美

この講義では、日本語の諸問題を、言語学の立場から、学生と教師が共に考え模索していくという方法をとります。したがって、いわゆる「正解」といったものは、この授業では得られません。この講義の目的は、問題解決に至る「試行錯誤」を通して、日本語のおもしろさを体得するという事にあります。

春学期では、まず、古代日本語の成立と背景について論じた後、中世の日本語について概観していきます。また、漢字が成立した背景や世界の文字の成立も併せて紹介します。秋学期では、中世の日本語の音や表現を見ることから始め、現代の日本語の特徴(特に日本語に特有な言語特徴)を分析していきます。また、時間が許せば、日本語の否定表現や様相表現に関する問題についても学生と共に考えてみたいと思います。

授業中は、毎回、学生の意見を求めるので、単に座っているだけの学生には向きません。しかし、逆に、授業というものを楽しんでみたい学生、あるいは、考えるというのはどういうことかを体験してみたい学生は受講してみてください。

(講義内容)

〔春学期〕

1. 古代日本語の成立と背景
2. 世界の文字
3. 中世の日本語

〔秋学期〕

1. 中世の日本語
2. 現代の日本語
3. 現在の言語研究先端

(使用言語)

日本語

(成績評価方法)

レポート及び授業への参加度

日本語会話

春学期 及び 秋学期 各1単位

今仁生美

梶原彩子

内山喜代成

会話練習では、日本人学生との会話練習を通じて、日本語会話能力の向上を目指します。対象者は日本語 I・II クラスの学生とします。(参加者数によって、変わることがあります。)参加者は1名~2名の日本人学生とパートナーになり、日本語で会話を行います。(パートナーは5週で代わります。)80%以上の出席が必須となります。

インターンシップ

冬季集中講義後 各2単位

留学生別科で学ぶ外国人留学生を対象に、日本企業などでの研修を目的とする「インターンシップ」が開かれています。研修期間中は講義、実習、見学及び社員との交流などが予定されています。参加学生は日常会話程度の日本語能力が必要です。実施期間は冬季集中講義後、2週間実施されます。なお、受講生は、その仕事が基本的に要求する条件を満たさなくてはなりません。

日本事情総合 1~5(日本語 IV、日本語 V 履修生のみ対象)

春学期 及び 秋学期 各2単位

別科生が本学学部開講の人文・社会系科目を履修し、単位を修得した場合には留学生別科の本科目へ振り替えすることが出来ます。

日本語 IV・V を履修している学生は、学部担当教員の許可を得た上で、本制度を利用できます。

● 日本事情科目

日本の宗教

秋学期 2単位

黒柳 志仁

日本の過去と現在における様々な宗教を紹介する。日本は、古来より神道や民俗宗教などのいわゆる原始宗教、仏教やキリスト教などの普遍的な宗教から新しい宗教に至るまで、幅広い種類の宗教的伝統を特徴としている。これらの宗教はすべて今日も現存し、現代日本に共存している。この講義は日本の宗教研究を継続し、深めたいと思っている学生にも、知識的な基礎を提供するであろう。

[講義内容]

1. 日本の宗教 概観
2. 母国の宗教との相違(1)
3. アニミズム
4. 神道
5. 熱田神宮 訪問(熱田区)
6. 母国の宗教との相違(2)
7. 仏教

8. 法持寺 訪問（熱田区）
9. 仏教と神道の相違
10. 日本のキリスト教
11. 明治期の国家神道
12. 母国の宗教との類似性

[教科書] 教材を適宜配布する

[参考文献] プリントを配布する

[使用言語] 英語／日本語

[成績評価方法] 出席 80%、課題レポート 20%

日本の歴史

春学期 2単位

鹿毛 敏夫

本講義では、本学が所在する熱田を中心に、名古屋、尾張、愛知、東海地域を題材として日本の歴史を学びます。授業は教室での講義だけでなく、明治時代の古図を使った熱田の散策や、近隣の歴史系博物館の調査などを実施して、現地に残る遺物や古文書などの歴史の痕跡から地域の歴史像を考察します。

[講義内容]

1. 「日本の歴史」概観
2. 日本史の時代区分・年号・国名
3. 熱田地域の歴史（名古屋市熱田区役所）
4. 熱田の台地と古墳群
5. 古代・中世の名古屋
6. 熱田神宮の歴史（熱田神宮宝物館）
7. 愛知の三英傑
8. 尾張徳川家（徳川美術館）
9. 近世の尾張
10. 江戸時代の浮世絵
11. 東海道の歴史
12. 名古屋市の歴史（名古屋市博物館）
13. 名古屋の近代化
14. 「日本の歴史」総括

[教科書] 教材を適宜配布する

[参考文献] 「名古屋并熱田全図」明治 11（1878）年

[使用言語] 日本語

[成績評価方法] 出席 60%、課題レポート 40%

日本の文学

春学期 2単位

藤森 秀美

日本文学は 1000 年の歴史を持ち、多くの人々に愛されてきました。源氏物語は最古の小説として知られています。現代では村上春樹の小説が世界中で読まれています。

また、日本の人々は、読むだけでなく、自らも作品を作り、文学を楽しんできました。万葉集には身分の高い人から庶民まで幅広い人が作った和歌が収められています。

本講義では、さまざまなジャンルの日本文学作品を読んでいきます。文法の解説や、語彙の説明などもしますが、それには重点を置きません。内容を楽しむことを第一の目的とします。

[学習到達目標]

1. さまざまなジャンルの日本文学の作品を日本語で読めるようになる。
2. 文学作品を読んで感想を言ったり、作品について話し合ったりできる。

[講義内容]

1. 小説 1 「緑色の獣 1」
2. 小説 2 「緑色の獣 2」
3. 小説 3 「緑色の獣 3」
4. 小説 4 「緑色の獣 4」
5. 俳句 1 俳句とは
6. 俳句 2 名句鑑賞（松尾芭蕉・与謝蕪村・小林一茶）
7. 俳句 3 俳句を詠む
8. エッセイ
9. 短歌 1 短歌とは

10. 短歌 2 栗木京子の歌を読む
11. 短歌 3 若い人の短歌を読む・短歌を詠む
12. 詩 1 詩を読む
13. 詩 2 詩を作る
14. 試験

[成績評価方法] 授業への参加度 25%、課題 25%、試験 50%

[教科書] プリントを配布します。

[使用言語] 日本語で授業を行います。

[履修上の注意]

日本人が読むものをそのまま教材として使うので、それを理解できる日本語 III、IV クラスの学生が対象になります。

日本の文学

秋学期 2単位

加藤 利枝

この授業では、日本の古典文学（随筆）と俳句、近・現代小説を扱います。

古典文学を読むときには、文法や語彙の説明も必要に応じて行いますが、それより、話の内容を楽しむことに重点を置きます。

授業はすべて日本語で行いますから、日本語 III 以上のクラスの学生でないと思ひます。

[講義内容]

- (1) 古典（随筆 『枕草子』他）
- (2) 俳句作品（近世～現代）
- (3) 近・現代小説（村上春樹、他）

日本の経済

春学期 2単位

阿部 太郎

日本経済は戦後、1945年の敗戦から驚異的な復興を遂げ、先進国の仲間入りを果たした。しかし、90年代初めのバブル崩壊から経済停滞に苦しんできた。その上、2008年に起こった世界的な金融危機、2011年3月の東日本大震災に見舞われ、難しい舵取りを迫られている。

この講義では、日本経済の戦後六十数年の大まかな流れと現在の状態について学ぶ。講義の中で適宜、マクロ経済学の基本的な知識についても学ぶ。なお、内容が変更になることもある。

[講義内容]	1～2	序論
	3～4	復興期
	5～6	高度経済成長期
	7～8	安定成長期
	9～10	平成不況期
	11～12	現在の諸問題

[成績評価法]

授業への参加度（出席状況など） 60%

日本の経済社会に関するレポートの提出またはプレゼンテーション 40%

[教科書] プリントやパワーポイントのスライドのコピーを必要に応じて配布する

[参考図書] Tsuru, S. Japan's Capitalism, Cambridge University Press, 1993

[使用言語] 主として英語と日本語

日本の経営

秋学期 2単位

岡本 純

(授業の目的)

これまで日本的経営を説明する場合には、その特徴として経営慣行・人事諸制度および労働者の行動様式などを海外企業の経営と比較して論じるのが一般的であった。

しかしながら、「日本的経営」も、バブル崩壊以降「株主価値の重視」「コーポレートガバナンス」「成果主義」などに代表される「日本的経営」とは異なる経営スタイルを多くの企業が何らかの形で導入するに至り、いわゆる「年功序列」「年功賃金」「終身雇用」の諸制度は、非正規雇用の増加とともに既に崩壊の様相を呈しているかに見える。

本論では、日本的経営の本質について説明するとともに、変化しつつある今日の日本の経営スタイルを欧米のそれと比較しながら論じる。そして、学生諸君に日本の経営スタイルを自分なりに一定のイメージを持ってもらうことにある。したがって、さまざまな具体的事例、DVD、VCR、新聞報道などを用いて現代の日本の経営のありようについての理解を深める。

(講義概要)

1. 序論
2. 日本と欧米の経営スタイルの差異
3. 日本企業の組織
4. ヒューマンリソースマネジメント
5. 日本企業の系列組織やグループ（商社）
6. 日本企業における流通システムと生産システム
7. 今日の日本企業の経営（サプライチェーンマネジメント）
8. 今日の日本企業の経営（国際化、SUZUKI、MUJI）
9. 今日の日本企業の経営（マーケティング・イノベーション）
10. 今日の日本企業の経営（CSR 雪印）
11. 今日の日本企業の経営（NISSAN）
12. 今日の日本の企業（楽天、ユニクロ、セブンイレブン）

(教科書) プリントなどを適宜配布する

(参考図書) James C. Abegglen, "21st Century Japanese Management", Palgrave Macmillan, 2006

ジェームス・C・アベグレン, 山岡 洋一 (翻訳), 『新・日本の経営』日本経済新聞社 2004

(使用言語) 日本語

(成績評価方法) クラスへの参加度(40%)、レポート(60%)

日本の社会

春学期 2単位

長田 こずえ

日本の社会の特徴と変化を、歴史的な背景、文化的な意味、人間行動の特徴、政治経済的背景を明らかにしていく。また、現代日本社会の重要問題となっている、自然環境保全、環境汚染と日本型環境社会、資源・エネルギー問題、福祉

会へのアプローチ、高齢社会と少子化の社会的背景、ジェンダーや女性の活躍の課題などにも焦点を当てて考える。日本の宗教や世界遺産、日本の外交などについても考察する。

[講義概要]

1. 日本社会の歴史的発展過程を知る
2. 日本人の日常生活を学修し、さまざまな社会的状況を体験する
3. 現代日本の抱える諸問題を検討し、日本社会の特質を考える

[講義要旨]

1. 日本の自然と社会への招待
2. 日本の自然環境の特色 1 地理的視点から
3. 日本の自然環境の特色 2 自然構造と季節感・美意識
4. 日本人の暮らしを考える 〈基礎〉
5. 日本人の暮らしを考える 〈発展〉マルチメディアで学ぶ
6. 日本の社会、ポップ文化、政治の基本 〈基礎〉
7. 日本の社会、ポップ文化、政治の基本 〈発展〉マルチメディアで学ぶ
8. 日本の宗教、言語、マイノリティー文化（アイヌや沖縄）
9. 日本の建築とユネスコ世界遺産
10. 変貌する女性の地位と役割
11. 日本の外交と国連への貢献
12. 日本の人口問題と少子化－福祉問題 ＋個人の発表
13. 振り返り

[成績評価方法] 成績評価は以下の要領で行う。

1. 前半の授業への参加度（討議など）30%
2. 出席率 30%
3. 授業まとめの個人プロジェクトと発表 40%

[使用言語] 英語/日本語（主として英語です、日本語説明は補足程度）。従って、このクラスの受講者は英語の理解度が求められます。基準としては、TOEFL スコアー500 点以上くらいのレベル

[テキスト・参考資料・図書] セッション毎にパワーポイントやプリントアウトを準備します

日本の観光

秋学期 2単位

村田 久美子

2019年度の訪日外国人数は過去最高で、3188万人を越えました。今年は2020年の東京オリンピック開催を機に、さらなるインバウンドの需要が見込まれます。本クラスにおいては、最近外国人に人気のある新しい観光地のほか、主要な観光地について学びます。

授業の一環として、熱田神宮への訪問も計画しています。現役通訳案内士（ガイド）の資格を持った講師が中部の主要な観光スポットを毎回取り上げていきますが、最終回には、生徒による、観光地のプレゼンテーションをしてもらいます。なお、2020年度の春学期は開講いたしません。

秋学期は英語のみの開講となります。

[成績評価方法] 出席、宿題（都道府県ミニテスト）、期末試験、口頭プレゼンテーション

[講義概要]

日本の観光政策および、インバウンド観光の現状を学びます。とくに中部地区における観光の名所を学習しつつ、今後の観光のあり方を考える授業です。

中部地区の主な観光地について、みどころを説明できるようになります。

基本的な日本の地理を身に付けてもらうため、毎回47都道府県を地域別に分け、ミニテストを行います。

1. イントロダクション 国内主要観光地紹介及びインバウンド観光の現状
2. 名古屋市内の観光地及び、日帰り観光地
3. 名古屋城と堀川
4. 高山・白川郷 世界遺産の村
5. フィールドトリップ訪問先
6. 伊勢神宮、伊賀上野
7. 白鳥庭園または熱田神宮訪問
8. 京都
9. 大阪、広島
10. 東京その他
11. 北海道、沖縄
12. 生徒による口頭プレゼンテーション
13. 筆記期末試験

日本の文化

春学期 及び 秋学期 2単位

増田 喜治

このクラスでは 1) 歌舞伎、2) 茶道と 3) 武士道の三つのテーマを通して、日本人の美学、運動学、言語と文化を学びます。

- 1) 歌舞伎：日本人の典型的な文化的価値観を追求するため、歌舞伎十八番より「助六所縁の江戸桜」を典型的なモデルとして選択しました。この歌舞伎が正徳三年(1713)に江戸の山村座で初演されてから絢爛豪華な生活を示しているからです。この歌舞伎において、三人の人物に焦点が当てられます。口上を務めた市川海老蔵(1977-)、助六を演じる市川團十郎12代目(1946-2013)、そして揚巻を演じる板東玉三郎(1950-)です。
- 2) 茶道：茶道を完成させたと言われる千利休(1522-1591)と「茶道」を1906年に英語で出版した岡倉天心(1863-1913)の二人の業績比較を通して茶道のテーマを学びます。
- 3) 武士道：オックスフォード英英辞典では「武士道とは武士によって進化してきた榮譽と道徳への規範である」と定義しています。新渡戸稲造(1862-1933)によって原著が英語で1899年出版された「武士道、日本の魂」の何章かを読むことにより、難解とされているこの本から 1) 道徳システムとしての武士道、2) 腹切の原理 3) 武士道の将来について学ぶ予定です。

受講生は課題図書とビデオを閲覧するだけでなく、各授業に割当たられている歌舞伎スタイルの歩行とスピーチを模倣練習してする必要があります。3つのレポートと日本文化を統合した10分間プレゼンテーションを行う必要があります。学期末の筆記試験は実施しません。

日本の国際関係 アジアのなかの日本 ー日中関係の歴史ー

秋学期 2単位

中田 昭一

近年の日中関係は、かつての「日中友好」の時代とは異なって、相互嫌悪と敵意が高じつつあり、東アジアの中長期的な将来にとってかなり危険な状態にある。互いに重要な貿易相手国である事実を鑑みれば、日本には中国を敵にする余裕はなく、それは中国としても同様であろう。健全な日中関係の構築に向けて、冷静な議論が求められる。両国の間に横たわる最大の障害は歴史問題であるといえよう。本講義では、日中関係の歴史を振り返りつつ、日中が「歴史和解」を実現するための方策を検討してみたい。

(講義内容)

1. 日本人にとっての中国史
2. 日本の古代国家と中国
3. 唐宋変革と日本
4. 江戸時代像の再構成
5. 開港前後の日中比較
6. 日中における技術移転の諸相
7. 「満州国」とは何だったのか？
8. 日中戦争
9. 南京大虐殺をめぐる諸問題
10. 戦後の日中関係
11. 冷戦と領土問題
12. 日本人帰国者の現在

(参考文献)

歴史教育者協議会『東アジア世界と日本』青木書店、2004年
尾形勇他『中国の歴史 12 日本にとって中国とはなにか』講談社、2005年
岸本美緒『中国の歴史』ちくま学芸文庫、2015年

(使用言語) 日本語

(成績評価方法) 出席(80%)および課題レポート(20%)

日本語 IV・V を履修している学生は、学部担当教員の許可を得た上で、本制度を利用できる。

日本事情演習 1 ー日本文化と芸術 ー

春学期 及び 秋学期 各2単位

田口 知洋

[春学期]

(講義目的)

- ・ 日本の文化や芸術の発展を促した内的・外的要因を歴史的に理解する。
- ・ 各時代を代表する事物を知ることによって日本の文化と芸術に関する見方を広げる。
- ・ 現在もなお影響力のある伝統的な美意識を理解する。
- ・ 鎌倉・京都・奈良・大阪・東京などの歴史的都市の歴史的背景を理解する。

(講義概要)

アジア大陸の東に位置する日本は大陸からの多様な文化を吸収して文化や芸術を形成してきた。本講義では、アジアとの交流によって形成された先史時代から江戸時代までの伝統的な日本の文化や芸術を歴史的に追究する。

(講義要旨)

1. 狩猟採集から稲作農耕への発展；土器に見る美意識の変化（縄文時代、弥生時代）
2. 農耕社会の更なる発展とヤマト王権の成立；弥生美術（弥生時代、古墳時代）
3. 仏教の伝播と中央集権国家の建設；古墳美術及び仏教文化の展開（飛鳥時代）
4. 仏教美術の発展；仏教の建築・彫刻・絵画など（飛鳥時代）
5. 仏教美術の発展と漢字の使用；東大寺など主要寺院の仏教美術、万葉集など古典文学の概観（奈良時代）
6. 平安時代の貴族文化の発展；平安前期の文化と美術（平安時代）
7. 国風文化と仏教美術；平安中期の美術と文学（源氏物語・枕の草子・古今和歌集）
8. 貴族たちの洗練された美意識；平安後期の絵画と文学（戦記文学・今昔物語）
9. 武士政権の成立；禅文化と芸術（彫刻・建築・庭園・連歌）（鎌倉・南北朝時代）
10. 室町時代の文化と美術の多様な発展；寄合いの文化・禅文化・能楽（室町時代）
11. 桃山文化と美術；絵画・城郭建築・茶道・侘びの美意識など（桃山時代）
12. 江戸時代前期の文化と美術；絵画・工芸・俳諧・文楽・歌舞伎（江戸時代）
13. 江戸時代後期の文化と芸術；歌舞伎の更なる展開、浮世絵・文人画・蘭画など

(使用する教科書)

ビデオ・スライド・図録などを使用し、その都度資料を配布する

(成績評価方法) 授業参加 30%、宿題と討論 30%、学期末レポート(約 1600 語)40%

* 学期末レポートを書くにあたっては、学生は最低一冊の本を読むこと。

(使用言語) 英語

[秋学期]

(講義目的)

本講義の目的は、絵画からビデオゲームまでの到達点を探究することによって日本の近代化の多様性を理解することにあ

る。

学生は日本が国際化と西洋化の基準に適合させるためにどのように文化芸術の各分野を近代化したのかを理解できる。学生は代表的な日本文化である漫画・アニメ・時代劇映画・ビデオゲームなどが、世界から注目を浴びるようになった顕著な要因を理解することができる。

(講義概要)

日本は、近年において西洋文明を熱心に吸収し、それを日本社会に適応させ短期間に近代化を果たした。本講義では、近代日本において西洋文明との交流によって成し遂げられた文化や芸術の成果及び、戦後に活発になった大衆文化の形成と現況について探究する。

(講義要旨)

1. 近代化する日本；近代化の始まりから今日までの文化発展まで
2. 万博参加とジャポニズム；日本の文化の国際社会への登場と相互関係
3. 日本美術の近代化の始まり；芸術家たちの近代化への挑戦
4. 日本の芸者とその文化；近代化に果たした芸者の役割と日本女性の社会活動
5. アイヌ民族の伝統と近代化；歴史と文化、同化政策を課した日本の近代化
6. 夏目漱石と近代化；夏目漱石や森鷗外を通して見る日本人の近代化
7. 日本映画の歴史；創成期の日本映画とその発展
8. 特撮映画と円谷英二；特撮映画に見る創成期の特撮映画と戦争体験
9. 戦中・戦後の日本映画；黒澤明、溝口健二、小津安二郎、成瀬巳喜男
10. 漫画の歴史と手塚治虫；漫画の発展と手塚治虫の功績
11. アニメーションの発展と手塚治虫；虫プロを中心としたテレビアニメの展開
12. アニメーションの発展宮崎駿；宮崎駿作品に見るアニメーションの発展
13. ゲーム産業とゲームの創作；ビデオゲームの歴史と主要なゲーム創作者の功績

(使用する教科書)

ビデオ・スライド・図録などを使用し、その都度資料を配布する

(成績評価方法) 授業参加 30%、宿題と討論 30%、学期末レポート(約 1600 語)40%

* 学期末レポートを書くにあたっては、学生は最低一冊の本を読むこと。

(使用言語) 英語

異文化間コミュニケーション

春学期 及び 秋学期 各 2 単位

吉野 勇夫

世界がボーダーレスになり、ビジネスや旅行や留学で多くの人が異文化に出入りしている現在、異文化間コミュニケーションの重要性が強調されています。善意の言葉が時には侮辱と受け取られるなど、異なる文化の人たちと交流すると、自分の文化では予想もしなかったような落とし穴に出会います。

これは互いに異なる考え方や価値観を持っているからです。この講義では、実際のビジネスの現場で起きた異文化摩擦の実例を取り上げながら、日本人独特の考え方や価値観、習慣など文化的背景を学びます。

講義概要

1. 異文化間コミュニケーションとは？
2. 日本型経営方式の特徴、日本のビジネスマンの行動様式
3. 日本人の「仕事観」とその背景
4. 事例 1) トヨタ自動車の仕事の仕方
5. 事例 2) 日米貿易摩擦の推移 (主に自動車分野)
6. 事例 3) NUMMI (New United Motor Manufacturing, Inc.) の設立
7. 事例 4) NUMMI の基本理念
8. 事例 5) NUMMI の従業員に起きた変化
9. ビジネス現場における異文化摩擦の具体例 (1)
10. ビジネス現場における異文化摩擦の具体例 (2)
11. ビジネス現場における異文化摩擦の具体例 (3)
12. 異文化摩擦の具体例から学ぶこと

(教材) テキスト教材を配布する

(使用言語) 英語

(成績評価) 授業中に質問・意見 (60%)、課題レポート (40%)

スポーツ 1 - バドミントン -

春学期 及び 秋学期 各 2 単位

白井 徹

心身ともに健康に生きていくための実践方法を、発育発達の完成期にありしかも感性豊かな大学期において身につけることは必要不可欠なことである。

これらの種目は生涯にわたって友人や家族と楽しめるようなスポーツ種目である。積極的に取り組んでほしい。

【学習到達目標】

目的は次の 3 点に要約される。

①運動・スポーツの合理的な実践を通して、心身の調和のとれた発達と運動技能の習得をはかる。

②運動・スポーツを通してその楽しさや有意義さを体験し、自主的に運動する習慣を身につける。

③運動・スポーツにおける競争や協同の経験を通して、フェアプレーの精神を身につける。

【履修上の注意】

身体的に他の学生と一緒に運動することが困難な学生はガイダンス時に担当教員と相談すること。

種目：バドミントン

【講義・テーマ】

1. 用具の説明と基本動作（グリップ・フライトについて）
2. ハイ・クリヤー、ドライブ、ドリブン・クリヤーの練習
3. ドライブ、スマッシュ、ヘヤピンの練習
4. ハイ・クリヤー、スマッシュ、ドロップショットの練習
5. 基本技術のチェックとコート半分での乱打
6. フットワーク（ドロップショットとネットフライト組合せ、スマッシュ・ネットフライト・クリヤー組合せ）
7. サーブ、レシーブ、ヘッドワークについて
8. ダブルスゲームの説明
9. ダブルスゲーム
10. ダブルスゲーム戦術（サイド・バイ・サイド）
11. ダブルスゲーム戦術（トップ・アンド・バック）
12. ダブルスゲーム戦術（ダイアゴナル）
13. テスト
14. 期末試験期間
15. 期末試験期間

（教科書）テキスト教材を適宜配布する。

（使用言語）英語

（成績評価方法）授業への参加度とレポート

スポーツ 2（空手初級） ・ 3（空手上級）

春学期 及び 秋学期 各2単位

出口 善治

日本の伝統文化である空手道について実技を中心に理解します。空手道は中国から沖縄へ伝来して達した武器を持たず、手足による突き・蹴り・受けを基本とする武術です。

授業では、空手道の礼節をはじめとして基本・形・組手を学び、暴漢などに対応できるような技術を身に付けます。初心者が楽しく、分かりやすく体得できるように指導しますが、授業への出席と十分な復習が必要となります。帰国後も護身術として活用出来るとともに本人の頑張り次第では最終授業での「級」の資格取得も可能となります。また、最終授業には古武道や居合道なども体験出来るよう指導します。

（講義内容）

- 1-2. 礼儀、心得、初歩動作、模範演技
- 3-4. 基本技術の練習（突き、打ち、当て、蹴り、受け、体さばき）
5. 形（基本）
6. 形（分解）
- 7-8. 組手（対人技術の練習）
- 9-10. 護身法
11. 総合のまとめ
12. 総合のまとめ・演武
13. 実技試験

（教科書）テキスト教材を適宜配布する

（使用言語）日本語

（服装）運動の出来る服装

（成績評価）授業への参加度(80%)と実技試験(20%)